

## 安全に関する改善事例

記入日: H17年 10月 21日  
 (所属会社) (氏名) (連絡先電話番号)

記入者:

ダム名	所在地県名	発注者	型式	ダム諸元		
				堤高(m)	堤頂長(m)	堤体積(千m <sup>3</sup> )
本河内高部ダム	長崎県	長崎県	G	28.2	158.0	53
設計・施工区分	工種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類	設計変更の有無	
施工	コンクリートダム堤体工	墜落、飛来落下	人的要因、設備要因	上下、高所、競合	有： <input type="radio"/> 無	
改善の概要: <b>プレキャスト床版の施工</b> 半円状の取水塔(内空半径2.3m、高さ22m)頂部の床版を、現場製作のプレキャスト化施工で実施した。これにより、取水塔内部は鋼製スライドフォームを使用することができた。					特許の有無	
					有： <input type="radio"/> 無	

メリット:

1. 狭隘な作業空間での、高さ20mの足場・支保工が不要となり、安全性・経済性・作業性が向上した。

デメリット:

1. 床版に開口部が必要であり、床版上部のコンクリート打設時の荷重を検討すると、プレキャスト床版製作時にすべての開口が設置できない。このため、プレキャスト床版設置後に、人力でコンクリートをはつり開口した。

改善前 (略図または写真)

無し

改善後 (略図または写真)



プレキャスト床版 製作状況  
(小規模の開口のみを設置)



プレキャスト床版設置後、次リフト型枠設置状況  
(大規模の開口を設置)